

第15回 白馬村地域公共交通会議議事録（要旨）

1. 開催日 平成25年5月20日（月） 13時30分～14時25分
2. 場所 白馬村役場201会議室
3. 出席者 太田委員、土屋委員（代理）、竹内委員（代理）、平沼委員、勝野委員、上條委員、松沢委員、風間委員、倉島委員（代理）、勝野委員、速水委員、渡邊委員、松井委員（代理）、高橋委員、海端委員、篠崎委員、吉田委員
4. 事務局 平林総務課長、矢口総務課企画調査係長
5. 関係職員 太田観光課観光係長、下川健康福祉課主査、太田観光局派遣主事
6. 配布資料
 - 資料1 : 委員名簿
 - 資料2 : デマンド型乗合タクシー運行状況報告書（平成24年度）
 - 資料3 : ナイトシャトルバス元気号の運行実績について（平成24年度）
 - その他 : 平成24年度収支・平成25年度予算

7. 議事経過

(1) 開会

風間副会長

第15回白馬村地域公共交通会議開会のことばを述べた。

(2) あいさつ

太田会長

地方では、株高に伴う国内経済活性化の効果がなかなか実感できないが、円安傾向が続いていることから、今後のインバウンド事業に期待している。

当村のデマンドタクシー事業、ナイトシャトルバス事業については、地域公共交通会議で5年にわたって審議をいただいた。両事業ともに利用実績が増えてきており、地域の足として定着してきている一方で、課題も生じてきていることから、引き続き委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、事業運営に活かしていきたい。

本日は、平成24年度の運行実績の報告が主な内容になるので、慎重審議をお願いしたい旨あいさつした。

(3) 報告事項

事務局・矢口

4月の異動等に伴い、新たに7名の委員を委嘱したことから、資料1により紹介、報告を行った。

(4) 協議・報告事項

規約に従い太田会長が議長となり議事を進行した。

太田会長

協議（報告）事項（１） 平成２４年度デマンドタクシー事業の運行実績について、担当委員の説明を求めた。

吉田委員

平成２４年度デマンドタクシーの運行実績について、別添資料２に基づいて説明した。運行形態は前年度から変更せずに事業を行った。年間乗客数は８０８５人で、前年比２８５名の増加となったが、伸び率は鈍化してきている。また、年代別の乗客数は、７５％超が７５歳以上であり、これは前年度までと同じ傾向である等の説明がなされた。
〔詳細は配布資料参照〕

事務局・矢口

補足として、平成２４年度の収支等について説明した。平成２４年度のデマンドタクシー事業については、運賃収入が約２３３万円あり、不足分の約９０９万円について村費を充てたとの説明がなされた。
〔詳細は配布資料参照〕

太田会長

デマンドタクシー事業の説明に対し、質問、意見を求めたが、委員からの発言はなかった。

太田会長

続いて、平成２４年度観光シャトルバス事業の運行実績について、担当委員の説明を求めた。

篠崎委員

平成２４年度観光シャトルバス事業の運行実績について、別添資料３に基づいて説明した。平成２４年度は、運賃は２００円据え置きとし、運行期間の短縮、停留所の見直し、路線の一部休止により経費の縮減を図りながら事業運営を行ってきた。乗客の内訳については、９１％が外国人の利用であり、また、バス停別の利用状況をみてみると、八方地区の乗降数が増えているのが特徴的であった。また、運賃収入は２２８万円に対し、バスの運行経費は５３８万円で、差額の約３１０万円について村費を充てて事業を実施したとの説明がなされた。
〔詳細は配布資料参照〕

太田会長

観光シャトルバス事業の説明に対し、質問、意見を求めた。

平沼委員

最終便に乗り遅れた外国人が、自転車を購入して飲酒運転するような事例もみられた

ことから、最終便の発着時刻をもう少し遅くする考えはないかとの意見が出された。

篠崎委員

以前は午後10時台の便も設定されていたが、いろいろ試行錯誤する中で、現状の時刻設定に落ち着いてきた経過もある。深夜まで全てをバスでカバーするのは現実的でないことから、タクシー事業者との連携により、最終便以降はタクシー利用を促すような周知も行っている旨の回答があった。

太田会長

その他、質問、意見を求めたが、委員からの発言はなかったことから、協議（報告）事項（2）平成25年度運行計画案について、担当委員の説明を求めた。

吉田委員

平成25年度のデマンドタクシー事業の運行計画については、先ほどの運行状況報告書に記載のとおり、平成24年度のダイヤ等を変更する計画はなく、基軸路線を守りながら運行を継続していきたいとの説明がなされた。

篠崎委員

円安傾向が続いていることから、今冬の外国人観光客は増えるだろうと想定しており、ナイトシャトルバスの利用者も増加が見込まれることから、その部分をどのようにカバーしていくかが今後の検討課題である。

運賃（現状200円）のアップ、乗車定員オーバー時の積み残し対策、運行期間、休止路線の方向性等について、今後観光交通システム検討委員会において検討していきたい。それを踏まえ、詳細の運行計画案を策定したうえで、次回公共交通会議に諮ってきたいとの説明がなされた。

太田会長

平成25年度の運行計画の説明に対し、質問、意見を求めた。

風間委員

昨シーズン、外国人のトラブルが多かったように聞き及んでいるが、どのような事例があったのか紹介してほしい。

平沼委員

自動車盗で2件の逮捕者があったほか、飲酒がらみの事件事故が多かった。金銭がらみの事件は聞いていないとの説明がなされた。

太田会長

今後外国人が増えればトラブルの増加も予想されることから、今後行政でも連携しな

がら対応していきたい旨発言した。

速水委員

会議資料については事前に配布してほしいとの意見が出された。

事務局・矢口

次回会議以降、そのように対応していきたい旨の返答をした。

太田会長

その他協議事項について、委員、事務局に発言を求めたが、特段協議を求める発言はなかったことから、審議を打ち切った。

(5) その他

事務局・矢口

次回会議について、ナイトシャトルバスの運行計画を主題として、秋口に次回会議を開催したい旨の説明をした。

(6) 閉 会

風間副会長

閉会のことばを述べ、会議を閉じた。